

イスラエルの回復のために祈りましょう

アメリカ合衆国にいるロシア系ユダヤ人

人口:600,000 人

▶「私の民を行かせなさい!」。アメリカのユダヤ人共同体が、旧ソ連の鉄のカーテンの背後に捕らわれているロシアの同胞たちのためにこう叫んだ。ロシアの優秀なユダヤ人科学者や哲学者、教授やほかの専門職に就く人々は、西側諸国の知的自由を切に望んでいた。しかし、祖国であるイスラエルに行くために出国ビザを申請するや否や職位を剥奪され、冤罪で牢に入れられることもあった。

▶今日、鉄のカーテンが崩壊し新たな自由の下でアメリカに移民した人は、イスラエルへ渡った人とはほぼ同じ数である。彼らがロシアを去った理由は幾つか挙げられる。依然として存在する漠然とした反ユダヤ主義、子供により良い教育を受けさせたいという願い、大学入学の定員制限、将来の反ユダヤ主義への不安、生活水準の向上、そして物質主義への誘惑などである。

▶アメリカにやって来ると、彼らは二重の現実直面する。彼らが滞りなく新生活を送れるよう手助けしてくれる人々がいる一方で、新しい言語や経済体制、雇用事情などの厳しい現実がある。彼らの新しい生活に関しては、主にユダヤ人団体がその責任を引き受けており、無料で数カ月間アパートを貸してくれ、中古家具や食費の支給、また英語教室も提供してくれる。州によっては、一定期間、政府からの福祉、医療援助が出る場合もある。ほかに、クリスチャンやメシアニック・ジューの団体がこうした事業を行っている。だが、英語の習得は時間のかかるものであり、就職の見込みはかなり薄い。たとえ技術者、医者、弁護士、科学者、あるいは音楽家として熟練していても、この新しい国では流暢に英語が話せない限り、自分の専門分野でさえ入れてもらえない。分野によっては、例えば医学や法律においては、アメリカの制度や水準に合わせるために再教育が必要となる。よって、やむを得ず生活のために安い賃金で単純労働をする人も大勢いる。

▶多くのロシア系ユダヤ人は、メシアニック・ジューやキリスト教の伝道に興味を示しており、現実的な援助とメシアについての教えを両方提供する福音のメッセージに耳を傾けている。彼らには、ユダヤ人としてのルーツやその信仰についてもっと知りたい、という飢え渇きがあり、聖書勉強会にも参加し、信仰についての証しも聴いてくれる。が、残念なことに、こうした飢え渇きも長くは続かない。定職に就きたい、それを維持したい、という現実問題に、すぐに彼らの時間と興味は占められてしまう。良い生活を追い求めるアメリカン・ドリームに心奪われて、それ以外のことは大したことはなくなってしまうのである。

▶アメリカは、昔からロシア系ユダヤ人にとって安全な避難所である。1881 年

から 1920 年までの間に、ロシア政府の認可の下でユダヤ人大虐殺が行われた時、実に 140 万人ものユダヤ人がアメリカに移民していった。しかし 1920 年に、ユダヤ人が共産主義を持ち込むのではないかと、という懸念から、移民制度は中止となった。ほかの国もほとんどが移民制度をやめたり、制限を設けたりしたので、旧ソ連のユダヤ人は閉じ込められ、ホロコーストの時には 200 万人の人々が犠牲となった。また、この数を上回る多くのユダヤ人が、共産主義政府の暴行によって、命を失った。1989 年になって、ようやくロシアのユダヤ人は、自由に移民することができるようになったのである。そのことを待ち望んでいたアメリカのユダヤ人は、両手を広げて彼らを歓迎した。最初のうちは、ロシアのユダヤ人は割と自由に受け入れられていたが、ここ数年、移民政策が変わってきて、今は、アメリカに移民するには「(ロシアにとどまると) 迫害される可能性が高い」という事実証明がなければならない。アメリカはロシアのユダヤ人に対して、受け入れと拒絶の姿勢を繰り返してきた。彼らに、さらに安全な避難所が必要となった時に、アメリカがこのまま、ずっと国境を開いていることを願ってやまない。



祈りの課題

- ☆ロシア系ユダヤ人が影響を受けやすい、この世の貪欲や心配事などに立ち向かって (マタイ13:22)。彼らが富や仕事に心の平安を求めないように。
 - ☆ 彼らに神の愛を分かち信徒が彼らに遣わされ、彼らの友となれるように。
 - ☆ アメリカにいるロシア系のユダヤ人が、イエシュア (イエス) を彼らのメシアとして見いだすことができるように。
 - ☆ 彼らが、神が用意された定めや召しを知り、それを成し遂げることができるように。
 - ☆ 彼らの文化や思想に深く刻み込まれた、無神論や共産主義の支配から、彼らが解放されるように。
 - ☆ 彼らの間で働く働き人の霊的必要が満たされ、励ましと希望が与えられるように。
 - ☆ 彼らの間にいる信徒が早く弟子訓練を受け、強い信仰に立つことができるように。
-